

# ねまってジャーナル

2021春号

桜が見頃を迎え、春らしくなって来ました。私たち地域おこし協力隊も令和2年度の活動を終え、新年度がスタートしました。今年度も様々な活動を展開したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします！



## 捕獲をしない鳥獣被害対策

長い冬が明け、春がやってきました。初めての盛岡の冬の寒さは流石に堪えましたが、何とか無事に越す事が出来ました。

これからの季節は農作業や山菜採りなど、皆様も野外で活動することが多くなってくると思います

が、我々と同じように動物たちも春の芽吹きに合わせて活発に活動を始めています。

里での農作業中や山菜取りで山に入るときなど、屋外で作業をする時は必ずラジオや鈴を身に付けて、動物（特にクマ）に出会わないように対策をしましょう。

さて、このように私の担当は野生鳥獣被害対策ですが、この活動は何も動物の駆除だけを行っているわけではありません。

たとえば先日、朝島山にあるりんご園さんにフクロウの巣箱を設置してきました。フクロウはリンゴの木の根を食い荒らすネズミをエサにするので、園の付近にフクロウが巣を作ってくればネズミの被害が減るといふ寸法です。

このように自然環境をうまく利用することができるといふ事例を知った時には目から鱗でした。



巣箱設置の様子



りんご箱を再利用したフクロウの巣箱

しかし調査の結果、残念ながらもまだフクロウは現れていないようです。

もし、どこそこでフクロウの声を聞いたよ！とか、見かけたよ！という情報があれば、ぜひ教えてください。

これからますます良い季節になっていきますが、ケモノたちともうまくやりつつ、事故なく過ごしましょう。それでは！（知念侑希）

## 地域イベントと情報発信

今年は春の訪れを例年以上にありがたく感じています。みなさんからご心配いただきましたが、盛岡に移住して初めての冬を無事に生き延びました！体験したことがない雪の量と寒さには驚きました。が、一面真っ白の雪景色には心が奪われました。そんな冬真っ只中の2月14日に開催したイベント「2021山里の雪灯り」には予想を上回る人数の方にお越しいただきました。ご協力・ご来場いただいた皆様ありがとうございました！全3会場を巡られた方が多くいらっしやっただようので、このイベ



雪灯りと氷柱



ひな祭の花だんご

ントが大ケ生・築川の両地域をお互いに知るきっかけになっていたら大変嬉しいです。次は夏のイベントを検討中です！  
最近、地域のみなさんから教えていただいた築川の食や名所をSNS(インターネット)上で発信し始めました。先日、ひな祭の際に子供たちが色付けした「花だんご」を掲載したところ「カラフルでとてもきれい！」「盛岡の伝統菓子ですか？すてきです！」といった反響がありました。「この花がいま見ごろだよ！」や「こんな食べ物を手作りしているよ！」など地域のネタがあったらぜひ教えてください！インスタグラムアカウント、ツイッターアカウントはyanagawa.moriokaです。フォローしてみてください！

(高橋佑未)



雪像の前で記念撮影



ほうき作り教室の様子

**雪のお祭り**とほうき作り教室  
この春で、大ケ生の曲り家に住んで2年が経ちました。今回の手強い冬を逆手に取ろう！と企画した雪のお祭り「雪灯り」は、大ケ生のみなさんにご協力いただいたおかげで雪と光あふれる素晴らしいイベントになりました。雪像作りを手伝ってくれたみなさん、ご来場いただいたみなさん、ありがとうございました。

3月と4月には、こあらかまどでほうき作り教室を開催しました。大ケ生のほうき作り名人のおかあさんに先生になっていただき、去年に続いて2シーズン目の開催で、主に盛岡の街なかからの参加者のみなさんがそれぞれオリジナルのほうきを完成させていました。去年の初夏から、ほうきの原料になるほうき草の栽培のお手伝

い(種まきから種こぎまで)もしたので、感動もひとしおでした。協力隊の卒業まであと4ヶ月になりました。残りの期間は去年に引き続き、大ケ生のブルーベリーを活用する活動をする予定です。去年は東京や盛岡市街地の飲食店などにブルーベリーを卸して様々なメニューに活用してもらったことがメインでしたが、今年はブルーベリーの加工品作りにも力を入れたと思っています。(富岡美恵)

**グリーンツーリズム体験を大ケ生地域で始めています**

グリーンツーリズムとは農山漁村に滞在し農漁業体験を楽しみ、地域の人々との交流を図り休暇・余暇を過ごすこととされています。ヨーロッパでは一般的な観光で、

農家さんが連携し協会を作って受け入れています。この地域での新たな収入源として活用できないものかと去年から始めてみました。コロナ禍ですので少人数屋外でのみ実施しています。知り合いに街中で暮らしている親子や里山暮らしに興味ある方々などに企画



力を合わせて栗収穫



芋の子掘り初体験

提案し、ワラビ取り・栗拾い・芋掘り・林檎もぎ・干し柿作りなど。皆さんにはお馴染みのことかもしれないませんが、参加者からはとても好評で自信に繋がりました。今年の春はよもぎ餅作りからです。

山菜・きのこの種類、くるみ・柿の木の育つ様子、季節ごとに繰り広げられる農作業…ここに暮らさなければ気付かなかったことばかり。こんな気付きや、住んでいる方からのお話の有り難さ、里山の恵みにこれからの可能性を感じています。

もう一つ漆の植栽も行っています。岩手県は漆の生産日本一。ですが今、神社仏閣の修繕に必要な量が足りていません。杉の伐採地、耕作放棄地などを活用し生産量を増やし、里山の文化とともに山の再構築も目指します。

(池内絵美)

盛岡市地域おこし協力隊の情報はFacebookでも発信しています。  
@moriokachiikiokoshi